

## 水稲品種「いなほっこり（仮称）」における積算温度と帯緑色籾歩合を利用した適期収穫

### 研究のねらい

「いなほっこり」は、平成29年度に奨励（認定）品種に採用した新品種で、イネ縞葉枯病抵抗性を持ち、登熟期が高温の年でも外観品質が優れる良食味品種です。

平成31年度から一般栽培が開始されるにあたり、本品種の高品質安定生産技術のひとつとして、収穫適期について検討しました。得られた収穫適期指標は、生産者による収穫適期の判断や乾燥調整施設の稼働スケジュール策定に活用できます。

### 技術の特徴

- 1 コンバイン収穫が可能となる籾水分25%以下になるのは、早植栽培、普通期栽培ともに、出穂期からの日平均気温の積算温度1,100℃以上です（図1）。
- 2 積算温度1,100℃の帯緑色籾歩合は、普通期では早植より低下しにくい傾向にありますが、20%程度です（図1、写真）。
- 3 登熟歩合は、積算温度1,050℃以上で安定します（図2）。

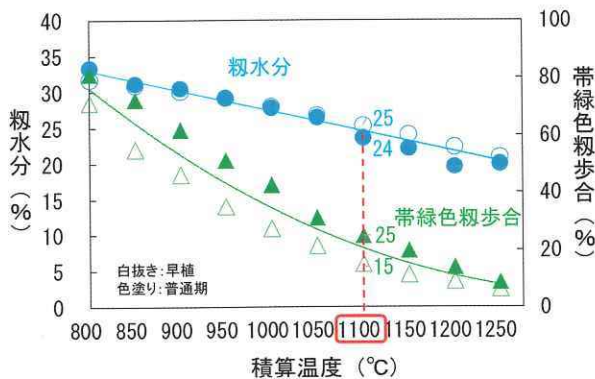


図1 積算温度と籾水分、帯緑色籾歩合の関係

- 4 外観品質は、積算温度1,250℃でも胴割粒の発生は少なく、著しい低下は見られません（図2）。



写真 帯緑色籾歩合20%程度の穂

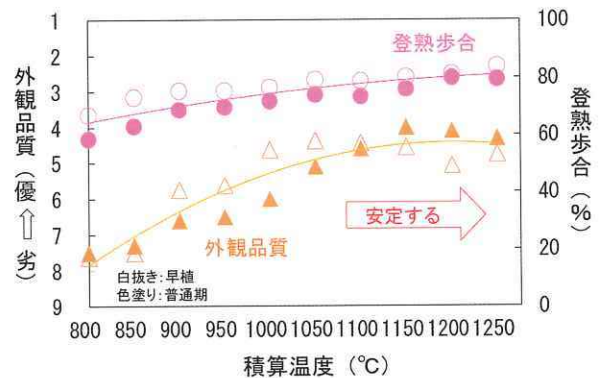


図2 積算温度と外観品質、登熟歩合の関係

- 5 異常天候の年には、収穫適期の積算温度は変動するため、積算温度、帯緑色籾歩合、登熟日数、穂軸や枝梗の黄化程度等により総合的に判断して収穫しましょう。

### 今後の取り組み

県内平坦地に「いなほっこり」の円滑な作付推進を図るため、高品質安定生産技術の確立に向け、引き続き栽培試験を実施します。

（執筆者：廣岡 政義）